

春のかんむり嶽参り

# 令和8年 徐福花冠祭

令和8年 3月29日



花冠



くしき野ふしぎの音楽隊



ご法楽



佐備神社様



湯神楽



お手打ち

『徐福来朝の碑』 (\*来朝とは日本に来たという意味)

徐福立ちし

この頂きに君も立ち

はるかに望め 国が行く末

作 冠山人

境内に立つこの石碑の傍らに咲く白い花の山査子 (さんざし) は約二千二百年前、日本に稲作を伝え た中国の徐福さんの故郷の木です。

今年も中国人留学生をお招きし、徐福さんの御恩 に感謝して花冠を捧げる奉冠の儀、ご法楽、そして 大阪 佐備神社様の神々しい 湯神楽のご奉納があり ました。

鎮國寺地車講によるお囃子とお手打ちで、皆様の いや栄えと世界平和を祈りました。

遅咲きの桜を眺めつつ、くしき野ふしぎの音楽隊 の美しい歌声を聴きながら、皆であたたかく美味し いうどんをいただき、春の雨の合い間の楽しいひと ときとなりました。

右 ご報告申し上げます。  
有難うございました。

合掌

令和八年 皐月吉日

冠嶽山鎮國寺頂峯院